

設立記念講演会を開催

●安田火災記念財団

安田火災記念財団では、本社ビル2階大講堂において、2回にわたり設立記念講演会を開催しました。

＜第1回＞ 昭和52年12月23日（金）

聴講者数 約200名 官公庁、同業者等も多数来場
テーマおよび講師

- 新航空運送法と保険 東京大学教授 矢沢 惇氏
- 消費者被害補償制度のあり方について

名古屋大学教授 森島昭夫氏

講演に先立って、三好理事長から記念財団設立の趣旨についての説明があり、「安田火災としては営利性、公共性をコンパインした事業体という性格から、利益の一部を社会に還元していくのが使命と考え、これを記念財団を通じて社会福祉の手助けと学術振興という形でどんどん実行していきたい。このために関係各位の協力と助言をお願いする」旨の挨拶がなされました。

続いて安井副理事長から記念財団の事業内容についての説明があり、矢沢教授、森島教授の講演が行なわれたわけですが、多数の来場者は終始熱心に聴講し、盛況裡に終了しました。

＜第2回＞ 昭和53年1月27日（金）

聴講者数 約200名 社会福祉事業関係者、生保業界関係者等も多数聴講

テーマおよび講師

- 補償と救済

社会保障研究所 研究第三部長 三浦文夫氏

- 有効な保障・高価な保障

慶応義塾大学教授 庭田範秋氏

第1回講演会は、テーマを損害保険およびその周辺にのいたのに対し、第2回は社会福祉・社会保障関係のテーマを採り上げたので、損保関係者にとっては、多少耳馴れない内容でしたが、そのため新鮮なものであったともいえるでしょう。

記念財団としましては、今後とも折にふれ、価値あるテーマを採り上げていく予定ですので、ご期待ください。

また、場合により地方都市などで講演会を開催することも検討したいと思っています。

なお、講演の詳しい内容については、テープに収録しており、後日プリントすることも可能ですので、ご希望の方は財団事務局までお申し出ください。

安田火災記念財団事務局：03—349—3130

森川常務が「企業研究会」で講演

●社長室

1月20日（金）、清話会主催「企業研究講演会」が、東京証券会館ホールで開催され、当社森川常務が「安田火災の現状と将来」と題し、つめかけた熱心な一般投資家約200名を前に、30分にわたり講演されました。



「安田火災の現状と将来」について熱弁をふるう森川常務講演の概要は次のとおりです。

1. まず、昨年の当社の増資が無事完了し、新資本金が300億円の大会社になったことの報告からはじまり、
2. 当社の現状については、当社は長い歴史と伝統を有する保険会社である一方、業界では成長力抜群の若々しい会社であることを具体的な数字をもって説明されました。

特に、マーケットシェア（元受保険料）は、この10年間で9.6%から12.3%へと大幅に上昇したこと、業界トップの東海を激しく追いあげ、ノンマリン部門では対T比90%を超え、トップに躍進を目指して現在努力中であることなどが紹介されました。

3. 当社の将来については、日本経済は安定成長への移行ということが一般的にはいわれているが、日本の損保業界は、自動車・傷害・賠償などの大衆保険分野を中心に、まだまだ成長を続ける若い産業であること、その中で拡大均衡路線を堅持し、大衆保険に強い当社の強味が今後ますます発揮されること、世界の保険会社のベスト10（現在20位）に入るのも間近いことなど、当社の将来はますます明るい確

感謝状相次ぐ——安田火災記念財団の社会福祉助成

安田火災記念財団（三好武夫理事長）は、52年度の事業の一環として、初の社会福祉活動に対する助成を全国的に行いました。当記念財団は、すでに2回にわたり福祉諸科学に関する講演会を開催し、好評を博しておりますが、今回の助成は、これと並行して、全国社会福祉協議会から推せんされた多くの団体のうち、所定の選考委員会の選考を経て決定された12の団体に對して行われたものです。

東京では、3月9日、当社43階特別応接室で、日本肢体不自由児協会の宗石常務理事に、記念財団の安井副理事長から助成金100万円が手渡され、なごやかな懇談のうちに式は終了しました。

東京以外の各地でも、助成の贈呈が行われ、新聞各紙に報道され、助成を受けた各団体から多数の感謝状が届いておりますので、新聞記事などの一部をご紹介します。

▼保険毎日新聞(3/27)

安田記念財団 全国12団体に助成金

3月9日 日本肢体不自由児協会へ贈る



安田火災記念財団（三好武夫理事長）は、52年度の事業の一環として、初の社会福祉活動に対する助成を全国的に行いました。当記念財団は、すでに2回にわたり福祉諸科学に関する講演会を開催し、好評を博しておりますが、今回の助成は、これと並行して、全国社会福祉協議会から推せんされた多くの団体のうち、所定の選考委員会の選考を経て決定された12の団体に對して行われたものです。

保険毎日新聞(4/3)▼

社会福祉に「役」 安田記念財団

【大田】わが国の福祉に代表者である横内ユリ子氏、昨午十時、安田火災記念財団に、助成金四十五万円を贈った。横内氏は、昭和二十二年、安田火災記念財団に、助成金四十五万円を贈った。横内氏は、昭和二十二年、安田火災記念財団に、助成金四十五万円を贈った。横内氏は、昭和二十二年、安田火災記念財団に、助成金四十五万円を贈った。



美原町社会福祉協議会代表に目録を贈呈する安田火災記念財団

「とちぎ子供の家」など12件 総額800万円 安田財団が補助

安田火災記念財団（三好武夫理事長）は、52年度の事業の一環として、初の社会福祉活動に対する助成を全国的に行いました。当記念財団は、すでに2回にわたり福祉諸科学に関する講演会を開催し、好評を博しておりますが、今回の助成は、これと並行して、全国社会福祉協議会から推せんされた多くの団体のうち、所定の選考委員会の選考を経て決定された12の団体に對して行われたものです。

盲導犬も列席 安田記念財団から 福祉助成に30万円

【大田】安田火災記念財団（三好武夫理事長）は、52年度の事業の一環として、初の社会福祉活動に対する助成を全国的に行いました。当記念財団は、すでに2回にわたり福祉諸科学に関する講演会を開催し、好評を博しておりますが、今回の助成は、これと並行して、全国社会福祉協議会から推せんされた多くの団体のうち、所定の選考委員会の選考を経て決定された12の団体に對して行われたものです。



高知新聞(3/15)▶

◀福祉新聞(3/13)

▼ホミニス学園からの感謝状

安田火災記念財団 理事長 三好武夫殿

ホミニス学園 理事長 佐々木 啓

貴財団より、昨年度に於いて、ホミニス学園に、助成金100万円を贈呈いただき、誠にありがとうございました。この助成金は、ホミニス学園の発展に大いに貢献し、子供たちの教育に大いに役立ちました。心より感謝申し上げます。

▼日本筋ジストロフィー協会からの感謝状と患者さんの作文

日本筋ジストロフィー協会 会長 佐々木 啓

貴財団より、昨年度に於いて、日本筋ジストロフィー協会に、助成金100万円を贈呈いただき、誠にありがとうございました。この助成金は、日本筋ジストロフィー協会の発展に大いに貢献し、患者さんの生活に大いに役立ちました。心より感謝申し上げます。

患者さんの作文：七世蓮生上人の遺書。蓮生上人は、江戸時代の名僧で、その遺書には、人生の哲理や教訓が記されています。この作文は、蓮生上人の遺書に基づいて書かれたもので、非常に興味深い内容となっています。